

ふれあい

ご自由に
お持ちください一般財団法人光ヶ丘愛世会
光ヶ丘スペルマン病院

Vol. 17



今回の特集記事

「当院の緩和ケア（ホスピス）のあれこれ」

ご挨拶

地域医療連携室長 内科科長 田島直美



平素は当院との医療連携につきましては、ご高配をいただき誠にありがとうございます。

世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症は、一旦は収まりかけたかと思われましたが、首都圏のみならず宮城県での感染症の報告も毎日のようにございます。当院でも気を緩めることなく対策を継続しながら診療を行ってまいります。

さて、昨年1月に当院の地域医療連携室は多職種が関わる体制で新たにスタートいたしました。いろいろと不慣れな点もありご迷惑をおかけしたことも多々あったかと存じますが、院内調整が以前よりスムーズに進むようになり、今後はさらに迅速に入退院調整ができるものと考えております。また、4月から社会福祉士が菅野・吉田・渡辺の3人体制に、6月から連携室主任として齋が加わり、より機動力が高まりました。

医療機関・介護施設の皆様方、患者さん・ご家族のご要望に可能な限りお応えできるよう整えております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ご挨拶

当院の緩和ケアの実際、どんなところなのか、どのようなことをしているのか、患者さんや医療関係者の方々に少しでもご紹介できればと思います。



緩和ケア病棟医師
亀岡 祐一

当施設は、市民グループ「ホスピス設置を願う会」の長年にわたる積極的な活動が実を結び開設されました。ホスピスでは病気を治すための治療は行いませんが、痛みなどのつらい症状については積極的に緩和を行います。同時に心のケアにも重点をおき、病の苦しみと闘うだけの日々から心身ともに解放され、その方らしく生きていただけるように、スタッフ一同がお手伝いさせていただきます。



緩和ケア病棟看護師長
牛坂 朋美

平成10年5月に県内初のホスピスとして開設され23年目を迎えました。開設当初は東北地方にもまだ緩和ケア病棟がほとんど無かったため、県外からの入院もありました。この間約2,000名の方々にご利用いただき、ご夫婦で、親子でとご家族でご利用されるケースも多くみられています。今後も皆様に選んでいただけるホスピスとして、患者、家族に寄り添い、心をこめたケアを提供していきたいと思っております。

緩和ケア内科ご利用の流れ

○ **STEP1 外来予約（完全予約制）** 外来相談日時：水曜、木曜 午後2時より

診療情報提供書、入院相談依頼票、緩和ケア内科診療情報提供チェックシートをFAXしてください

○ **STEP2 外来受診**

患者さんご本人が来院できない場合は、ご家族やご本人の意思を代弁できるかたでも差し支えありません

○ **STEP3 入院判定**

外来の相談内容、書類をもとに医師、看護師、医療スタッフによる入院判定会議を行います

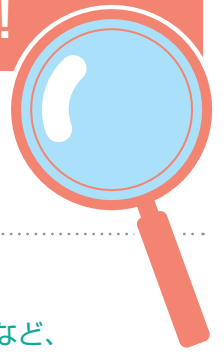
○ **STEP4 入院**

ベッド状況にもよりますが、現在外来相談より約1ヶ月ほどお待ちいただいております

お知らせ

地域の病院や介護施設の職員を対象にした地域講座「看取りについて一緒に考えてみませんか」は毎年開催しておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響でまだ実現しておりません。関係皆様方には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、開催が可能となりましたら改めてご案内申し上げますので宜しくお願い致します。

緩和ケア病棟（ホスピス）について聞いてみよう!!



Q 緩和ケア病棟はどのような患者さんが入院できますか？

A 治療が望めないと判断した悪性腫瘍の患者さんです。

Q 治療は何もしないのですか？

A がんを治すための治療は行いません。しかし、痛み・食欲不振・吐き気・息苦しさ・体のだるさなど、不快な症状に対しては積極的に対処します。

Q 一度入院したら退院は出来ないのでしょうか？

A 症状が落ち着いたり、患者さんご家族の希望があれば退院できます。また、ご家族が介護に疲れた時に休息をとっていただくための短期入院や、緩和ケア病棟での生活を体験していただくための入院なども出来ます。

Q いつでも家族がそばにいてもいいですか？

A 患者さんにとって最大の心の支えはご家族です。大切な時間を有意義に過ごしていただくためにも、出来るだけご家族やご友人の方々にはそばにいていただきたいと思います。病室の他に、宿泊出来るお部屋もご用意しています。また、デイルーム、キッチン、家族風呂などの設備もあります。

Q 心のケアもしてくれますか？

A 患者さんご家族の心のケアをしています。専門のパストラルワーカー（専従シスター）もおりますので、お気軽にご相談ください。



明るく清潔感があり、全室個室になります



家族団らんが出来るデイルーム



ナースステーションの様子



日の光が差し込み開放的な廊下です

緩和ケア病棟
利用実績(2019年度)

新入棟患者数 138人
新退棟患者数 142人

平均在院日数 42.9日
在院患者延日数 6,160日



Pastoral Care

パストラルケアとは・・・

聖書の中に書かれている良い羊飼いが羊を親身になってお世話するように、ケア望まれる方お一人おひとりの信仰や価値観、個性・習慣などを尊重しながら同伴させていただくケアです。



Volunteer

ボランティアとは・・・

患者さんの日常性の保持と、クオリティ・オブ・ライフ（生活の質・命の輝き）の向上のために、自分の存在と時間を自発的な意志によって無償で差し出します。

交通アクセス



バスでお越しの方

- 仙台駅前ロフト西側（18）バス停より
鶴ヶ谷7丁目行き保健環境センター前下車徒歩5分
- 仙台駅前ロフト西側（19）バス停より
中江・二の森経由・東仙台営業所行き
東仙台4丁目バス停下車徒歩1分



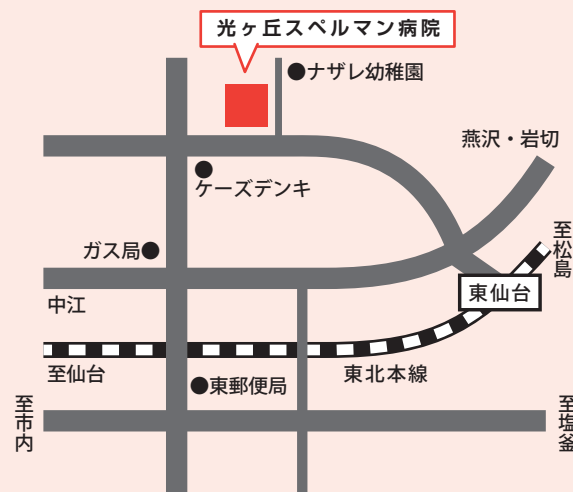
JRでお越しの方

- 東仙台駅下車、徒歩：10分 タクシー：3分



お車でお越しの方

- 利府方面からお越しの方
利府街道、東仙台2丁目交差点を右折し約500m先右手です
- 仙台駅方面からお越しの方
45号線を苦竹方面に進み、坂下交差点を左折、
約1.3km直進し、柊江交差点を右折後、300m先左手です



発行日：令和2年7月 発行：光ヶ丘スペルマン病院 URL <https://spellman.or.jp>

連絡先：光ヶ丘スペルマン病院 地域医療連携室 〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台六丁目7番1号
TEL：022-257-0231(代表) TEL：022-298-8580(連携室直通) FAX：022-257-0201(代表) FAX：022-298-8583(連携室直通)



WEBサイトQR